アジアの海外修学旅行先ベストセレクション

中国

10年の上海万博に注目

北京五輪施設や世界遺産巡り

日本から中国への高校修学旅行は、08年の実施人数をみると1万7095人（公立高校が68件1万643人、私立高校が48件で6452人＝日本修学旅行協会調べ）で、前年と同じ1万7000人台だった。

中国は、日本のおよそ26倍の国土を有し、黄河文明や長江文明などの古代から現在までの長い歴史をもっている。歴史で学んだ遣隋使や遣唐使をはじめ、日本との深い関係は改めていうまでもない。そうした意味では学習テーマにこと欠かないが、今回は記憶に新しい北京オリンピックと来年開かれる上海万博を中心に紹介してみよう。

08年の北京オリンピックは、世界204の国と地域から約1万1000人の選手が参加して28競技302種目を競い合った。熱戦の舞台となった北京国家体育場（通称・鳥の巣）は、オリンピックの開催前も期間中も、そして現在も話題の建築物として人々の関心を集めている。建築物として構造的に一見の価値が認められているからだ。そのほかの競技場やオリンピック公園なども同様で、アスリートの熱気に思いを馳せながら、各スタジアムを巡るコースが注目されている。

独特のフォルムで鳥の巣と呼ばれた国家体育場

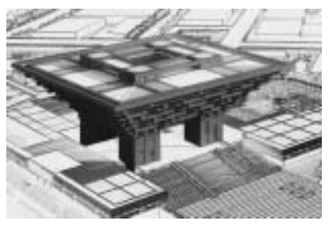
また、北京といえば万里の長城・八達嶺をはじめ故宮博物院、天壇公園、明の十三陵、頤和園、北京原人遺跡など世界遺産が目白押しだ。そして圧倒的な迫力の天安門広場がある。さらに京劇鑑賞や北京ダックをはじめ北京料理などさまざまな体験が待っている。日本の学校の修学旅行では7～8割が、ここ北京で実施されているために、受け入れ態勢も整っている。

一方、オリンピックが体力、肉体の祭典ならば、知力、技術力の祭典が国際博覧会（万博）だ。中国では、来年5月1日から10月31日まで上海国際博覧会（上海万博）が開催される。200の国家と国際機関の出展、7000万人の見学者を誘致すべく着々と準備が進んでいる。

万博のテーマは「より良い都市、より良い生活」で、サブテーマは「都市多元文化の融合」としている。首都の北京が政治の中心、万博開催地の上海は経済の中心地。日々発展の槌音が絶えない上海は、都市経済の繁栄、都市科学技術の革新、都市コミュニティーの再生、都市と農村の対話といった万博の狙いに最適な都市といえる。

また、上海は体験や見学施設が多い。上海科学技術館をはじめ、上海博物館、生きた昆虫展示のある大自然野生昆虫館、漢方薬の科学知識も学べる上海中医薬博物館ほか、美術や鉄道、都市計画などの多様な博物館が集中している。さらに、文化や体育と娯楽性を融合させたスーパー雑技の上海サーカスセンター、自分の手で紫砂壺の制作も体験できる四海坪博物館、中国江南古典風園林の代表作として世界に知られる豫園、上海市のランドマークでもある高さ469㍍の東方明珠タワーなど枚挙にいとまがない。

このほかにも北京や上海、西安などでは、地方ごとに異なる餃子や小龍包づくりをはじめ書道、「中国結」ほかの伝統民芸、京劇、中国武術（太極拳ほか）の体験教室、あるいは一般家庭や農村での市民生活体験などバラエティーに富んだプログラムが用意されている。また、学校間の交流も盛んに行われている。


テーマ館（完成予想図）

天安門広場

中華人民共和国
時差：日本の１時間遅れ
人口：約13億人
面積：約960万平方㌔㍍（世界３位）
気候：赤道地帯、熱帯、亜熱帯、暖温帯、温帯、寒温帯の六温度帯に分かれる
公用語：中国語（北京語）
通貨とレート：元、１元＝約14.4円（09年４月現在）

中華人民共和国国家観光局

■東京事務所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門２-５-２
エアチャイナビル ８階
TEL:03-3591-8686　FAX:03-3591-6886
ホームページ　http : //www.cnta.jp
■大阪事務所
〒556-0017 大阪府大阪市浪速区湊町１-４-１
OCAT ビル ４階
TEL:06-6635-3280　FAX:06-6635-3281
ホームページ　http : //www.cnta-osaka.jp/

上海万博のマーク（左）とマスコット

韓国

国内の随所に学習素材

歴史、英語、自然そして環境など

高校生の海外修学旅行先では、アジア地域内で最も人気の高いのが韓国だ。日本修学旅行協会によると、08年度に日本から韓国を訪れた高校の海外修学旅行生は2万5580人（公立高校97件1万5931人、私立高校82件9649人）で、アジア地域内へ向けた高校修学旅行の約4分の1を占めており、しかも着実に年々増加している。

人気の秘密は、日本から近い、旅行代金が安い、日本と歴史、文化のつながりが深いなどさまざまだが、一番の理由は学習素材が豊富なこと。各都市での自主行動をはじめ歴史・文化学習や平和学習、自然・環境学習などテーマ別プログラムが組みやすい。さらに、韓国は治安が良く、日本語の通じる店も多いことが活動を容易にし、学習内容の深耕に大きく寄与している。

今回は、豊富な素材の一端をソウル近郊から離れて紹介してみよう。

百済時代に創建された白羊寺

まず、百済文化圏（扶余、公州）の地域を訪ねるコースだ。日本の文化を考える上で欠かせないのが、仏教の伝来。日本史の教科書では、西暦538年に百済から仏像や教論が伝来したとある。伝来時期には異説もあるが、肝心なのは百済からということ。その本家本元を訪ねて、日本との歴史的なつながりを学ぶ価値は、グローバルな時代だからこそ極めて大きい。いわば、精神文化のルーツをたどるに等しい価値がある。

グローバル社会で欠かせないのが英語。韓国の英語熱は高い。国内にヨーロッパのオールドタウンを再現し、韓国語さえ使えないオンリーイングリッシュの体験空間をつくり上げてしまった。それが、京畿道英語村・坡州キャンプだ。入村には入国手続き（実際の海外の入国管理事務所を再現）が必要なのをはじめ、体験能がすべてそろっている。

京畿道英語村の一角

本土から海を隔てた済州は、世界自然遺産で人気急上昇のデスティネーション。日本で済州島として知られている島内は、１割が遺産地域で、そこを巡るトレッキングコースが注目されている。石柱や鐘乳石の神秘的な風景を観察できる万丈窟、海に張り出した城山日出峰、海抜1950㍍の漢拏山などが代表格だ。また、島独特の生活文化に触れる体験も見逃せない。

城山日出峰の入り口

このほか、各地の学習素材は豊富だが、やはりソウルは欠かせない。従来の歴史や文化学習とは一線を画した清渓川に注目したい。

清渓川は、北側に北岳山と仁王山、そして東側の駝山と南側の南山から水が流れ込み、ソウルの都心を横切っていた川だった。しかしソウル600年の歴史の中では、氾濫や治水の難しさから、市の開発に伴って暗渠となってしまった。それが、03年からの工事で道路やコンクリートの蓋が取り除かれ、現在では市内で憩いの場を提供する親水エリアとして川そのものが蘇っている。都市の環境問題を考える上では、最高の学習教材を提供している。

美しくライトアップされた清渓川

大韓民国
時差：なし
人口：約4840万人
面積：９万9461平方㌔㍍
気候：日本と同じ温帯で、四季がある
公用語：韓国語
通貨とレート：ウォン、W１＝約0.07円（09年４月現在）

韓国観光公社

ホームページ
http : //japanese.visitkorea.or.kr/
■東京支社
〒100-0011 東京都千代田区内幸町１-１-７
大和生命ビル16階1611号
TEL：03-3597-1717　FAX:03-3591-4601
E-mail : tokyo@visitkorea.or.kr
■大阪支社
〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町３-１-９
KAL ビル８階
TEL：06-6266-0847　FAX:06-6266-0803
E-mail : osaka@visitkorea.or.kr
■福岡支社
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-1-1
朝日ビル５階
TEL：092-471-7174　FAX:092-474-8015
E-mail : fukuoka@visitkorea.or.kr
■名古屋支社
〒461-0003 愛知県名古屋市中区錦2-18-19
三井住友銀行名古屋ビル１階
TEL:052-223-3211　FAX:052-223-3213
E-mail : nagoya@visitkorea.or.kr
■仙台支社
〒960-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-5-27
三井住友海上仙台ビル２階
TEL:022-711-5991　FAX:022-711-5993
E-mail : sendai@visitkorea.or.kr

香港

異文化理解を促す地域

歴史や自然からディズニーまで

香港は97年に英国統治が終えて中国に返還された。日本からの修学旅行生も訪れているが、デスティネーションとしては、これから伸びる地域と考えていいだろう。

期待される理由は、日本から4時間ほどのフライトで到着するアクセスのよさをはじめ、イギリス領であったことから英語の通用度が高く英語での会話が実践できること。また、見学や体験箇所が近隣に集積していることから、学習に便利で、しかも安全で低価格の公共交通機関が都市の隅々にまで行きわたって行動をサポートしている。もちろん、学習に欠かせない中国文化の貴重な歴史遺産や先進の見学ポイントも多く、広東料理や飲茶をはじめとする中国の食文化体験も魅力の一つになっている。さらに、中国本土への玄関口とも位置づけられ、九広鉄道を利用すると新界東部や深圳にまで足を延ばした広範な学習活動も可能だ。

文化を訪ねる修学旅行生

こうしたことから、これまでに実施した高校では「アジアを学んで日本を知る、アジアを学んで世界を知る」といった異文化理解のできる地域と高く評価している。

香港の学習プログラムから代表的なものを挙げてみよう。

伝統芸能を体験

自然環境学習では、有機農法の分野で「ORGANIC FARM」の農場生活体験のほか、「カドーリ農場植物園」では見学だけでなく自然環境保護が学べる。また、自然観察の分野では、ディープベイ・ラムサー湿地帯での自然観察ツアーのほか、クルーズで希少生物のピンクドルフィン・ウォッチング、ペチャウ島の自然と歴史学習、中国7大湿地の1つマイポー自然保護区での動植物観察や自然保護学習、田園地帯や丘陵を利用したトレッキングなどがある。

安全だから夜も楽しく探訪

一方、体験学習では中国武術の1つカンフー、太極拳や気功、中国茶道、中国4大料理などのほか、中国の祭事に欠かせない「龍の舞」や中国の獅子舞などを、見るだけでなく自ら体験できる。こうした伝統芸能の体験は、文化的な側面だけでなくチームワークの重要性を体感する貴重な体験学習といえる。

施設見学では、香港島のフラグスタッフハウス茶器美術館、警察博物館、香港大学美術ギャラリーをはじめ防災博物館、九龍の歴史博物館、美術館、サイエンスミュージアム、新界の香港ウェットランド・パーク、文化博物館など。レジャーアイランドと呼ばれるランタオ島では、世界で5番目の香港ディズニーランドのほか、南シナ海と香港の自然が一望できる全長5・7㌔のロープウェイ・ゴンピン360、タイオーと呼ばれる水上家屋が並ぶ漁村ほか見学にこと欠かない。

華やかでにぎやかな夜

モダンとオールドの調和が歴史の厚みを実感させる

100万㌦と賞賛される美しい夜景

香港
時差：日本の１時間遅れ
人口：約700万人
面積：1108平方㌔㍍（東京都の半分くらい）
気候：亜熱帯気候、ゆるやかな四季がある
公用語：英語と中国語（広東語）
通貨とレート：香港ドル、１香港ドル＝約12.7円（09年４月現在）

香港政府観光局

ホームページ　www.DiscoverHongKong.com/jpn/
■東京オフィス
〒100-0005　東京都千代田区丸の内３-１-１
国際ビル２階
TEL:03-5219-8288　FAX:03-5219-8292
大阪オフィス
〒541-0047　大阪市中央区淡路町３-５-13
創建御堂筋ビル８階
TEL:06-6229-9240　FAX:06-6229-9648

台湾

3年間で3倍強の伸び

台湾はアジア2番目の人気地域

日本から台湾への高校修学旅行が大きく伸びている。日本修学旅行協会の調べでは、08年の実施人数は7301人で、内訳は公立高校が27件で4646人、私立高校が24件で2655人だった。

それ以前の3年間を振り返ると、05年は2273人（公立が6件・927人、私立が17件・1346人）、06年は3271人（公立が13件・1800人、私立が17件・1471人）、07年は6532人（公立が26件・5158人、私立が16件・1374人）だった。人数ベースでみると07年に急激な伸びをみせ、08年もさらに伸びを続けている。05年に比べると3年間で3倍を超す増加を記録した。

南国らしい交流先の校舎

もちろん、台湾から日本への高校教育旅行も増えており、日台間の高校生の相互交流が活発化している。その背景には、双方が受け入れ態勢を整えてきた成果がみてとれる。

台湾では教育部指導のもとで、台湾の国際教育旅行の推進機関として「台湾国際教育旅行連盟」を02年12月に設置。台湾と海外の教育旅行交流をアレンジ、マッチングする機能を持たせた。公立・私立の普通科高校と職業科高校の合計約450校が同連盟に加盟している。また、日本など海外のからの訪問を受け入れる台湾の学校に対する助成金制度を98年から始めた。同制度も積極的な学校訪問受け入れの動機の1つになっている。

日本の高校が台湾を訪問して学校間交流をしたい場合は、同連盟に訪問校の紹介を依頼する仕組みになっている。

一方、日本側もビジット・ジャパン・キャンペーンなどの一環で訪日教育旅行を重視した「訪日教育旅行促進全国協議会」（国土交通省、文部科学省、国際観光振興機構などで05年12月発足）や各都道府県で地域訪日教育旅行促進協議会が設置されるなど、学校間交流の円滑化に努めている。

台湾への教育旅行にはさまざまな利点がある。環境面では、①治安・衛生面が良好②病院に英語、日本語の通じる医師がいる――など。地理・交通面では、①成田空港から約3時間の飛行時間で到着できる②日本の新幹線技術を海外で初めて採用した台湾高速鉄道（台湾新幹線）が、台北・高雄間を100分で結ぶなど、各種交通機関が充実している③平野部では年間を通じて降雪がない――などいくつもの点が挙げられる。

また、台湾には「世代を越えた親日感情」の高さがある。若年層の「哈日族（ハーリーツゥ）」や高校の第2外国語では日本語の人気が高いことなどもその表れであり、教育旅行からさらに広がる相互交流への期待は大きい。

こうした利点や特色に動かされたのは、埼玉県立志木高等学校（竹内好夫校長）だ。県立高校としては第1号となる海外修学旅行を決定し、その今年度旅行先として台湾を選んだ。

高雄女子高校の歓迎式典

現地研修で最新情報

今年は高雄方面で12月実施へ

全国修学旅行研究会は、4回目となる台湾教育旅行現地研修会を、昨年12月25～28日の日程で実施した。福岡、中部、関西、成田の各空港から台北入りした一行は、合計15人。2日目は国内航空で花蓮を往復、教育局、観光局、花蓮高校などを訪問し、現地関係者と座談会をもった。3日目は現地視察を兼ねて台湾新幹線で新竹へ移動し、新竹サイエンスパーク、烏来渓谷と先住民族の部落を視察した後、台北に戻って国立故宮博物院を現地視察するなど、台湾への修学旅行に向けた最新の情報を収集した。

同協会では、第5回の現地研修会を今年12月27～30日の3泊4日で予定している。訪問先は台北を経由して台湾第2の都市である高雄が中心となる。

台湾
時差：日本の１時間遅れ
人口：約2282万人
面積：3万6188平方㌔㍍（九州と同じくらい）
気候：北部は亜熱帯気候、南部は熱帯気候
公用語：中国語（北京語）
通貨とレート：ニュー台湾ドル（元）、１元＝約2.9円（09年４月現在）

台湾観光協会

ホームページ　http : //taiwan.net.tw/
■東京事務所
〒110-0003 東京都港区西新橋１-５-８
川手ビル３階
TEL：03-3501-3591　FAX：03-3501-3586
■大阪事務所
〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満４-14-３
住友生命御堂筋ビル６階
TEL：06-6316-7491　FAX:06-6266-7398